

## 巻頭言

著者	吉本 高志
雑誌名	東北大学医学部保健学科紀要
巻	13
号	1
ページ	1-1
発行年	2004-01-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/30821">http://hdl.handle.net/10097/30821</a>

## 巻 頭 言

東北大学総長

吉 本 高 志

東北大学医療技術短期大学部は、昭和 48 年 9 月、国立学校設置法の一部を改正する法律により東北大学に併設されました。開設時には、看護学科、診療放射線技術学科、衛生技術学科の 3 学科が設けられました。また、昭和 54 年には、助産婦および母子衛生に関する高度な専門知識と技術を身につけた学生の養成を目的とした専攻科助産学特別専攻が設けられております。

本学部では、平成 4 年、教官を中心にその研究成果を発表する場といたしまして、「紀要」Bulletin of College of Medical Sciences の第一巻を発刊し、次年度の第二巻からは年に二号ずつ出版し、関連分野において、学術雑誌として高い評価を受け今日に至っております。

このように、本学医療技術短期大学部は、これまで延べ 4,500 名に及ぶ医療を支援する人材を育成し、国民の健康に寄与してまいりました。

一方、近年、医療の高度化、少子高齢化などの社会の変化に対応し、より高度の専門知識と豊かな人間性を持ち、実践力を備えた優れた医療技術者の養成が強く望まれるようになりました。すなわち、医療専門職の養成は、従来の医療の補助的役割を持つ人材育成ではなく、生まれてから墓場までのたとえ通り、広く全人的医療を担う高度な専門的知識を身につけた人材の育成が必要とされるようになりました。

東北大学は大学全体として、この課題に取り組み、その解決のために、東北大学医療技術短期大学部を発展的に解消し、東北大学医学部保健学科へと改組転換する方針が立てられました。その後、多くの関係各位の長年にわたる多大なるお力添えにより、東北大学医学部保健学科は、平成 15 年 10 月に設置され、第一期生を平成 16 年 4 月に迎えることとなったわけであります。

新たな出発点に立った、この保健学科への改組に伴いまして、本誌も「東北大学医学部保健学科紀要」として再出発することになり、この度その第一号を発刊する運びとなりました。

新たな門出を心からお祝い致しますが、さらに重要なことは、将来的に東北大学医学部保健学科は、日本における重要な拠点として、順次、修士課程、博士課程の大学院を設置することです。この設置には、関係各位の多大なる努力が前提でございますが、学問的業績の観点からは本誌の役割がきわめて重要と考えます。

本誌を通じ、看護学及び医療技術科学分野における研究をさらに発展させるとともに、優れた指導者の養成に努めていただきたいと思います。